

## 建物移動の利用

文書管理番号：1225-01

### Q. 質問

敷地の境界線と平行に建物を配置したい。

敷地の境界線からの離れ寸法を指定して、建物の位置を決めたい。

建物移動を利用して建物を移動したい。

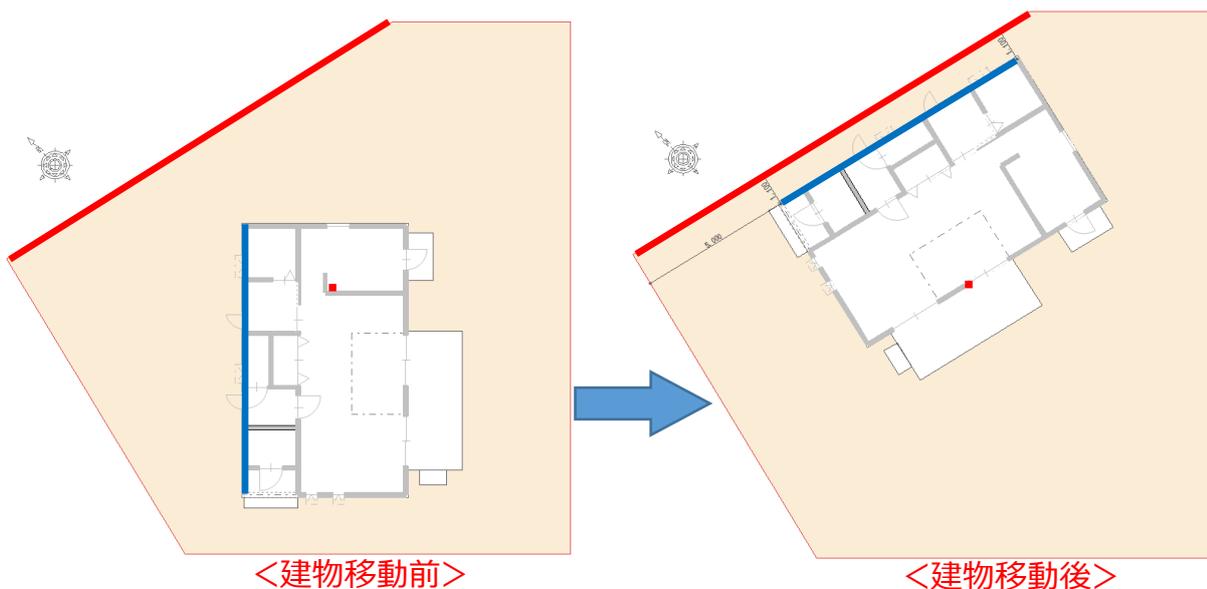
### A. 回答

敷地に対する建物の位置を決めるには、外構図で  (建物配置) の  (建物配置) または  (建物移動) を利用します。

 (建物配置) は、任意の位置に建物を配置します。

 (建物移動) は、敷地線と建物線 (基準線) の離れの距離を指定して、敷地線と平行に建物を配置します。

ここでは、 (建物移動) を利用し、以下のような敷地で、赤色で示した敷地線に、青色で示した建物線が平行になるように建物を配置する方法を説明します。



 (建物配置) を利用して建物を配置する方法は、こちらをご覧ください。

[\[1055\] 建物配置の利用](#)

## 操作手順

- ① (外構図)で (建物配置)の (建物移動)をクリック

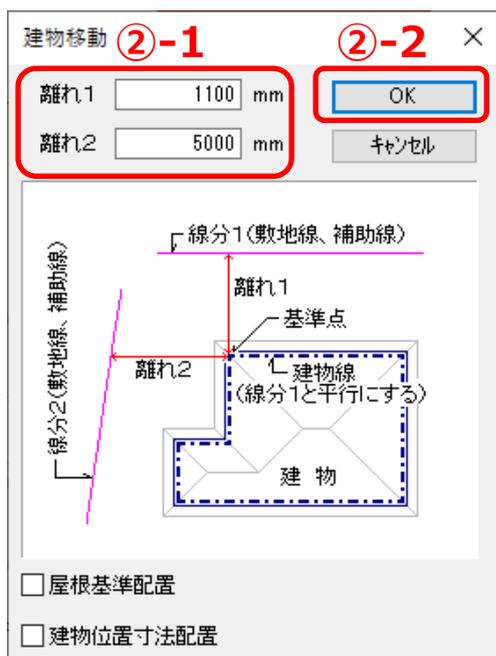
\* 建物移動の設定画面が表示されます。

- ② 離れ1、離れ2にそれぞれの距離を入力し「OK」をクリック

\* 離れ1には、建物と平行になる敷地線との距離を入力します。

離れ2には、もう一方の敷地線との距離を入力します。

ここでは、離れ1「1100」mm、離れ2「5000」mmと入力します。



### 【注意】

離れの基準に指定できる基準点は1つです。

離れ1、離れ2には、それぞれ同じ基準点を基準とした距離を入力してください。

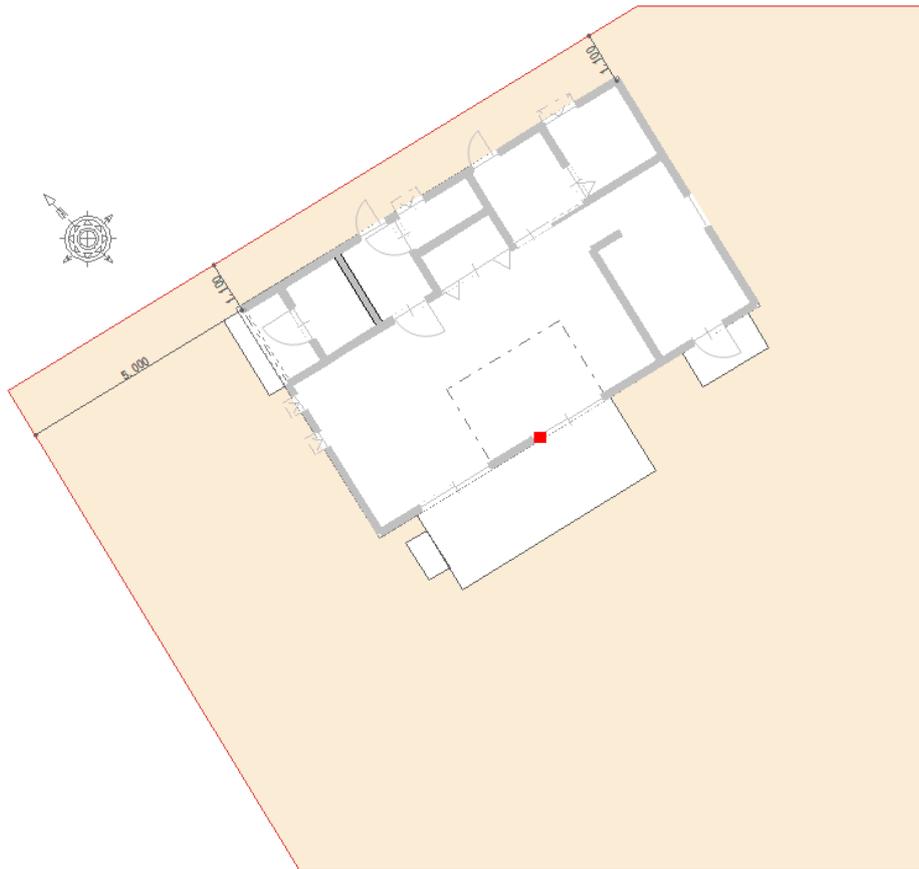


- ③ 敷地線と平行になる建物線を、基準点に近い位置でクリック
- \* 建物線に赤い線が入り、クリックした位置に近い端点が基準点となり、×がつきます。
  - \* 建物線の端点でクリックすると、交差する他の建物線が選択される場合もあるため、端点ではなく線上をクリックしてください。他の建物線が選択された場合は、右クリックで選択を解除できます。
- ④ 建物と平行になる敷地線（線分1）をクリック
- ⑤ もう一方の「離れ2」の基準となる敷地線（線分2）をクリック
- \* 指定した位置に建物がラバーバンド表示されます。
  - \* 建物の向きが異なる場合は、[スペース]キーで向きを変更してください。



## ⑥ 左クリック

- \* 建物の位置が確定し、指定した位置に建物が配置されます。



- \* 敷地の表示方向を (プラン図)の向きに揃える方法は、こちらをご覧ください。

[\[1090\]プラン図と外構図で敷地の向きを揃える方法](#)

## 参考

建物移動の設定画面で、各項目にチェックを入れると、以下のような配置が行えます。

- 屋根基準配置

屋根の軒先やケラバを基準線として、敷地線と基準線の離れの距離を指定し、敷地線と屋根の軒先やケラバが平行になるように建物を配置します。

屋根が入力されていない場合は指定できません。

- 建物位置寸法配置

建物を配置した際に、建物の各階の出隅から敷地境界線までの寸法を自動で配置します。

